

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	理念のキャッチフレーズについて、「再確認をしたい。」との意見から職員全員で一つ一つの理念の意味やケアの視点について話し合った。重度化されている入居者様もおられ、「日々のコミュニケーションを深めていきたい」ゆったり過ごせる場面を増やしたいと考えた。	理念にもある「のんびり」できる時間を作り、入居者様と職員が、ゆったりと過ごせる場をふやし、笑顔を引き出す事ができる。	A様は、なじみの曲が流れると、居室に戻ろうとされていたのが居間に戻られ、一緒に歌ったり、昔話に花が咲く。他の皆様も口ずさむ方、表情が和らぐ方がおられる。スタッフは単純に音楽を流すだけでなく、入居者様の表情や言動を観察し好きな曲など共有して流し、歌ったり、語ったりすることによって、皆様の笑顔を引き出す事ができるようになる。	2 ヶ月
2	(2)	ホームの上が土砂災害警戒区域であり、26年1月には自治会で勉強会が行われた。災害マップの作成も始まり、避難訓練も予定されている。	○星取地域災害マップの作成に参加し、星取地域の状況を把握する。 ○災害時にすみやかに対応できるよう地域との連携を強める。	○自治会の災害ハザードマップ作りに参加し、災害時の動きや地域の高齢者一人暮らしの方への支援など、ホームとしての役割について確認する。 ○避難訓練の折りは、地域の皆様にも協力を呼びかけ連携を強める。	12 ヶ月
3	(15)	食事は、ご本人のペースでゆっくり召し上がって頂き、職員も笑顔で同席し、食事介助をしているが、家庭的な雰囲気・入居者様にとって楽しい食事になっているか検討したい。	入居者様一人一人が、安心して、おいしく食事を摂る事ができる。	昼の11時30分から、食事終了まで、1週間録音し、不快な音や対応などについて検討する。	2 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月